

ブログ以前の「反障害通信」内の「読書メモ」「書評」、号数ごとの表記

19号

書評

- ・『障害学研究4 特集：経済学と障害学の対話』2008 (blg.28)

18号

- ・渋谷要『ロシア・マルクス主義と自由－廣松哲学と主権の現象学Ⅱ』（社会評論社）2007
- ・横塚晃一『母よ！殺すな』（生活書院）2007
- ・廣松渉「科学論の今日的課題と構案－近代知の構成の対自化と超克のために－」（『思想1983.10 特集 科学論 近代的学知と生活世界』所収）1983
- ・障害児を普通学校へ・全国連絡会編『障害者権利条約 わかりやすい全訳でフル活用！』（千書房）
- ・若林一平「武谷技術論を超えるもの」（『情況 72／9 特集 近代科学技術の宿命』所収）

1972

- ・青山武「科学的理性の成立と陥穽」（『情況 72／9 特集 近代科学技術の宿命』所収）

1972

- ・座談会 広重徹・村上陽一郎・廣松渉「近代自然観の超克」（『情況 72／9 特集 近代科学技術の宿命』所収）1972
- ・野家啓一『クーン－パラダイム』（講談社）1998

17号

- ・勝守真「変位と物象化－廣松四肢構造論の脱構築的読解」（『情況 臨時増刊 廣松渉の世界』情況出版）1994
- ・小林敏明『廣松渉－近代の超克』（講談社）2007
- ・廣松渉『カントの「先験的演繹論」』（世界書院）2007
- ・福島智『盲ろう者とノーマライゼーション』（明石書店）1997

16号

- ・杉野昭博『障害学 理論形成と射程』（東京大学出版会）2007
- ・障害学研究編集委員会『障害学研究2』（明石書店）2006
- ・日本弁護士連合会人権擁護委員会『障害のある人の人権と差別禁止法』（明石書店）2002
- ・『月刊情況 07年5月号別冊』（情況出版）特集日中合同マルクス主義哲学研究 2007
- ・『月刊情況 05年8／9月号』（情況出版）特集廣松渉版『ドイツ・イデオロギー』国際シンポジウム [上] 2005

書評 反障害運動のための基本文献③

- ・吉田おさみ『“狂気”からの反撃』（新泉社）1981

15号

- ・木村晴美『日本手話とろう文化 ろう者はストレンジャー』（生活書院）2007

- ・横田弘対談集『否定されるいのちからの問いー脳性マヒ者として生きてー』(現代書館) 2004
- ・田中耕一郎『障害者運動と価値形成ー日英の比較から』(現代書館) 2005

書評 反障害運動のための基本文献②

- ・横田弘『障害者殺しの思想』(JCA出版) 1979

14号

- ・星加良司『障害とはなにかーディスアビリティの社会理論に向けて』(生活書院) 2007
- ・対談白石嘉治・立岩真也「自立のために」(『現代思想』06年12月号(青土社)所収) 2006
- ・吉澤夏子『フェミニズムの困難』(勁草書房) 1993
- ・トーマス・クーン『科学革命の構造』(みすず書房) 1971

13号

- ・しみずよりお『聴覚障害者が見たアメリカ社会ー障害者法と情報保障』(現代書館) 2004
- ・亀井伸孝『アフリカのろう者と手話の歴史 A・J・フォスターの「王国」を訪ねて』(明石書店) 2006
- ・マイケル・オリバー『障害の政治』(明石書店) 2006
- ・熊野純彦&吉澤夏子編『差異のエチカ』(ナカニシヤ出版) 2004

書評 反障害運動のための基礎文献①

- ・横塚晃一『母よ！殺すな』(すずさわ書店) 1975

12号

- ・熊野純彦『差異と隔たり 他なるものへの倫理』(岩波書店) 2003
- ・熊野純彦『レヴィナス 移ろいゆくものへの視線』(岩波書店) 1999
- ・熊野純彦『レヴィナス入門』(岩波新書) 1999

11号

- ・熊野純彦『ヘーゲル <他なるもの>をめぐる思考』(筑摩書房) 2002
- ・熊野純彦『メルロ＝ポンティ 哲学者は詩人でありうるか?』(NHK出版) 2005
- ・熊野純彦『カント 世界の限界を経験するのは可能か』(NHK出版) 2002
- ・熊野純彦『西洋哲学史 古代から中世へ』(岩波新書) 2006
- ・熊野純彦『西洋哲学史 近代から現代へ』(岩波新書) 2006
- ・立岩真也『希望について』(青土社) 2006

10号

- ・ジュディス・バトラー『アンティゴーネの主張 問い直される親族関係』(青土社) 2002
- ・ジュディス・バトラー「ジェンダーをほどく」(『思想 2006/9』(岩波書店)所収) 2006
- ・竹村和子「未来のバトラーとの対話に向けて」(『思想 2006/9』(岩波書店)所収) 2006
- ・ジュディス・バトラー「性をみつめ、生の可能性問う」(『朝日新聞 2006/1/25 夕刊』) 2006
- ・澁谷要『国家とマルチチュード 廣松哲学と主権の現象学』(社会評論社) 2006

9号

- ・『情況 06/7/8』 特集 資本とは何か? (情況出版) 2006

- ・アントニオ・ネグリ『ネグリ 生政治的自伝－帰還』（作品社）2003
- 8号
- ・スーザン・ジョージ『ルガノ秘密報告 グローバル市場生き残り戦略』（朝日新聞社）2000
- ・スーザン・ジョージ×マーティン・ウルフ『[徹底討論]グローバリゼーション 賛成／反対』（作品社）2002
- ・スーザン・ジョージ『WTO徹底批判！』（作品社）2002
- ・スーザン・ジョージ&ファブリッチオ・サベッリ『世界銀行は世界を救えるか 開発帝国五〇年の功罪』（朝日新聞社・朝日選書）1996
- 7号
- ・スーザン・ジョージ『債務ブーメラン 第三世界債務は地球を脅かす』（朝日新聞社・朝日選書）1995
- ・スーザン・ジョージ『債務危機の真実 なぜ第三世界は貧しいのか』（朝日新聞社・朝日選書）1989
- ・スーザン・ジョージ『なぜ世界の半分が飢えるのか 食糧危機の構造』（朝日新聞社・朝日選書）1984
- ・『現代思想 05年4月号』特集 教育現場の変貌（青土社）2005
- 6号
- ・スーザン・ジョージ『オルター・グローバリゼーション宣言 もうひとつの世界は可能だ！もし……』作品社 2004
- ・『情況 06年1・2月号』オルター・グローバリゼーション特集（情況出版）2006
- ・『現代思想 06年4月号』特集 教育改革の現場（青土社）2006
- ・サラ・サリー『ジュディス・バトラー』（青土社）2005
- 5号
- ・廣松渉『哲学者廣松渉の告白的回想録』（河出書房新社）2006
- ・『思想 2006 3号－福祉社会の未来』（岩波書店）2006
- ・『現代思想 05年11月号－特集マルチチュード』（青土社）2005
- 4号
- ・アントニオ・ネグリ & マイケル・ハート 『マルチチュード』<上下二冊>（日本放送出版協会）2005
- ・『季刊福祉労働 109号』（現代書館）2005
- ・上野千鶴子編『脱アイデンティティ』（勁草書房）2005